

## 学校访问

学校访问是国际交流员的工作之一，来到鸣门已经过了半年多了，我终于在这个月收到了鸣门板东小学的请求，并于 11 月 12 日前往该小学进行了就任以来的第一次学校访问。

访问之前，两位学校的负责老师与我见了面，并将孩子们感兴趣的话题列出来供我参考，这可帮了我大忙。根据老师提供的资料，我就能有的放矢地做好相关准备，我的讲座也不用担心孩子们不喜欢。而这次参加我讲座的孩子

他们都是五年级的孩子，跟我儿子差不了多少，也让我感到无比亲切。当天到达学校，跟校长见面后便直接去了教室。五年级两个班级的孩子们已经整齐地坐在教室里等待我的到来。根据我多年跟日本人交流的经验，以及对日本生活的了解，我将重点放在了孩子们感兴趣的项目中存在的中日差别，尤其是同龄的中国孩子们的日常生活与学习更是引起了这些日本孩子们浓厚的兴趣。在收到学校访问的请求后，我便跟儿子的班主任老师联系，请她录制了一份儿子班上孩子们用中英文向日本孩子表示问候的视频。在我的讲座最后，我将视频放给了板东小学给孩子们看，也得到了热烈的反响。

讲座之后，这些日本孩子更是通过分组，将日本人的日常生活以及他们自己在学校的生活通过各种方式介绍给我。看到孩子们稍显腼腆但又非常认真地小脸，我深深地感动了。而且，通过这样的学校访问，更让我深刻地认识到孩子们对异国文化的渴望，相信孩子们的纯真能让这个世界真正成为一个友好和谐的地球村。



## 学校訪問

学校訪問は国際交流員の仕事の一つです。鳴門に来て半年間以上が経ちました。初めての学校訪問要請を鳴門市板東小学校から受け、11月12日に実施しました。

事前に学校の担任の先生と面会して、打ち合わせしました。先生から子供達の興味がある項目を教えてもらって、とても助かりました。内容は子供達に合うかどうかの心配がなくなり、準備もとてもやりやすくなりました。また、今回の子供達が小学校5年生で、自分の子供とあまり変わらない年齢層だから、とても親しみを感じました。

学校に着いて、校長室で校長先生に少し挨拶してから、私はすぐ教室に行きました。子供達は床に座って私を待っていました。日本人と長く付き合い、日本での生活経験もある私は日本社会の理解に基づいて、中国と日本の違うところを主に説明しました。特に、子供達は中国の同じ年齢層の子供達の学校生活や普段の生活にとっても興味を持っています。実は、学校訪問の要請を受けた後、自分の子供の担任の先生に連絡して、その組の子供達

から動画のメッセージをもらいました。私からの説明の最後に、そのメッセージを日本の子供達に見せました。子供達はとても喜んでくれました。

私の説明が終わってから、子供達は自分で作ったものを使って日本の文化や日本人の生活を紹介してくれました。子供達のシャイで真面目な顔を見て、とても感動しました。学校訪問で子供達が異文化を知りたい気持ちがよくわかりました。また、子供たちの純真でこの地球は本当の一つの友好の村になることを信じます。

## 中间研修

毎年日本自治体国際化協会都会組織来自各国并散布在日本各地工作的国际交流员进行一次中间研修，今年的研修时间是11月19日至21日，地点在东京附近的千叶县。

在与同伴们分开大半年后，我们一行40几号人又相聚在了日本千叶。平常大伙儿都在网上聊得很开心，这次能见上真容，对上脸，伙伴们都非常高兴。真心感谢协会提供这样的机会，但是感谢的不止是让我们同伴能重新相聚，更感谢为我们安排的充实的，并且对我们的国际交流工作有着很大帮助的研修内容。

研修开始的当天，宫城县国际化协会的会长大村昌枝女士以备受期待的主题进行了为时2小时的演讲。大村女士重点介绍了2011年3月11日地震时，宫城县国际交流员协助当地外国人的经历和当地外国人如何发挥自己的特长和能力与当地居民共同应对灾难的事迹。通过大



天，公益财团法学会的大村昌枝国际交流员为时的演讲。大村年前东日本国际化协会应对国人避难，以及发挥自己的特长民众集体抗灾女士的介绍，

让我明白了自己身为国际交流员在地区发展和社会生活中也能起到不可忽视的作用。

当天的研修结束以后，接下来的一天半时间中，针对国际交流员日常工作设置了很多不同主题的分科会，我也根据自己的兴趣和目的选择了翻译、通过食文化开展国际交流、国际礼仪以及工作电话应对和职场沟通技巧等研修内容。教学老师有的是专业，有的则是我们国际交流员，他们的教学深入浅出，通过各种方式使我们在轻松愉快的氛围中完成了学习。

3天的研修很快就结束了，但是这3天时间带给我的快乐和收获却是让我终生难忘。感谢国际化协会精心的安排和组织，更感谢我所在的自治体给予我这样的难能可贵的机会。

## 中間研修

毎年、日本自治体国際化協会は各国から日本の各地に派遣されている国際交流員を集め、年に一回中間研修を行います。今年も同じく、千葉県で行われました。研修期間は11月19

日から 21 日まででした。

中国からの C I R の仲間と別れてから半年間以上が経ちましたが、今回千葉で再会できました。普段、皆さんとはネットで話をしていましたが、顔を合わせ、とても楽しかったです。こんな貴重な再会のチャンスを与えてもらったことだけではなく、充実し、国際交流員の仕事にとっても役に立つ研修内容をご準備してくださったことについても、日本自治体国際化協会に感謝します。

研修の初日に、公益財団法人宮城県国際化協会次長兼企画事業課長の大村さんは「期待される C I R … あなただからできること、あなたにしかできないこと」の基調講演を二時間行いました。2 年前の東日本大震災の時に、宮城県国際化協会の災害時の対応と在住の外国人を助けたことを主に説明し、宮城県在住の外国人が自分の能力を活かして災害の時に周りの人を助けたことを紹介しました。大村さんの講演で、自分が国際交流員として地域活性化や社会生活面で能力を発揮する場はたくさんあると改めて感じました。

残りの一日半の研修は、国際交流員の仕事に対して、いろいろな分科会を行いました。私は自分の興味や今後の仕事の目的で通訳、「食」から国際交流に挑みましょう、国際プロトコール、電話対応演習と伝え方の技術を選んで研修に参加しました。先生はプロの方だけではなく、国際交流員も先生になっていました。先生たちの教え方はとても上手で、私たちはリラックスして楽しく勉強できました。

三日間の研修はあっという間に終わりました。忘れられなく、とても有意義な三日間でした。日本自治体国際化協会にだけではなく、この勉強するチャンスを与えてくださった自治体にも心から感謝しています。

## 国内新闻

◆11月22日,位于青岛市黄岛的中石化黄潍输油管线发生爆燃事故,目前已造成55人死亡,9人失踪,166人受伤。

◆11月22日に、青島市黄島にある中国石油化学工業株式(有)会社の石油運送パイプの爆発事故が発生しました。今まで死者55人、行方不明9人と166人が負傷しています。



◆由湖南卫视引进韩国的综艺节目制作的《爸爸去哪儿》节目在国内掀起收视狂潮,前四期收视率都在13%以上,深受国内观众喜爱。



◆韓国番組の版權を買い、湖南衛星チャンネルが作った「お父さん、どこに行く？」番組は中国国内でとても人気で、前四回の視聴率は13%以上になりました。

所属: 鸣门市观光振兴课

地址: 鸣门市撫養町南浜字东浜 170

(〒772-8501)

TEL: 088-684-1746

FAX: 088-684-1339

E-mail: kokusai@city.naruto.lg.jp

编辑: 刘蓉